

岩沢通信

発行 岩沢アチコタネーゼ・岩沢分館
岩沢地域振興協議会・岩沢福祉会
編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

室内でも充実した内容で盛り上がる



ート。○×ゲームやイントロ当てクイズで盛り上がった。小島富夫祭典部長からは、お花をいただいた参加者や協力してもらったスタッフにお礼の言葉があり、続く有志による力ラオケ大会や阿部貴幸さんによるギター弾き語り、お楽しみ抽選会で演芸会が進行した。最後は小島文司副町内会長の感謝の言葉で締めくくり、演芸会は終了となった。

第3回 おぢや棚田米コンテスト募集

小千谷市棚田産 最高のお米を決定!

第3回 おぢや 棚田米 コンテスト

来年度全員が審査員!
中山間地で育てられたお米のトップを決める



エントリー期間
8/3~10/16
審査米の提出は10/30まで

詳しくは裏面に
ご覧ください。

今年度第3回となる「おぢや棚田米コンテスト」を開催します! 昨年度は67名の方からエントリーいただき、10名の入賞者を決定いたしました。
今年度もより多くの方からご参りいただければと思います。ぜひ自慢のお米で挑戦してみてください!

- 🏆 一次審査通過米10点を表彰します。
- 🏆 入賞者には賞品を贈呈します。
- 🏆 小千谷市「ふるさと納税」の返礼品において入賞者のお米として全国にPRできます。



本審査会・表彰式

日時: 11/29(日)
会場: ホントカ。
詳細は追ってご案内します。

主催: 中山間地 小千谷市広域協定運営委員会
コンテストの最新情報はWebサイトでご確認ください

<https://kome-musubij.jp/tp/tanadama/>



詳しいお問い合わせは事務局
090-7769-2786 阿部巧まで。

今年も熱い夏を2日間運行



8月22・23日万灯団体「氣つ南會」(庭野優也会長・桂出身)は南部地区の若者を中心としておぢやまつりに参加した。今年の作品は4月に行われたブルーインパルス展示飛行の機体のブルーと小千谷の特産である錦鯉を合体させた万灯を作成。まつりの2日間の中で、万灯車やお囃子車は統一パレードは別に、川井の「ほのぼ



の「で利用者にお囃子を披露。また塩殿、真人、岩沢の各地では子供たちを中心に親子試乗体験を行った。庭野会長は「毎年準備は大変だけど、いざ始まるとそんな苦労は吹き飛ぶ。最近では高小生の参加も増えてきているのでありがたい」と話す。(写真は久須美徹也真人地域づくり支援員と渡邊良平地域づくり支援員より提供)



今年度一回目の寄付

スポーツフェスタに活用期待

「岩沢福祉会(諏訪部栄一会長)は9月3日、塩殿の小千谷市立総合支援学校の野住明美校長へ、今年度二回目となる特別寄付を行った。

これは9月19日に小千谷市総合体育館で開催されたスポーツフェスタに諏訪部会長へ来賓としての誘いがあつたのだが、本人が体調



「感謝の言葉を述べた。スポーツフェスタの模様は次回10月号で掲載する予定である。

買物困難者へ停車場を拡大

10月からは角上魚類も再開

8月から始まった、十日町のももたろうの移動販売であるが、猛暑や歩く距離のせい、利用が少ない状態が続いていた。そこで山谷の佐藤和則会長

や市之口の大淵貴幸会長に振興会や福祉会からお願いした結果、9月からはそれぞれの集会所前でも販売することが承諾された。毎週金曜日の午前10時15分頃から住民センター前より開始し、10分程度販売したのち、山谷、市之口の集会所に回ることとなる。係では来客状況により時間が前後する場合があるので、早めに来てほしいとお願いしている。

また、車両故障で休止していた角上魚類の移動販売も10月2・16・30日の金曜日午後2時10分〜30分まで住民センター前で再開されることが決まった。



編集後記

各種メディアで報道されているように9月1日から「生活道路」における自動車の法定速度が30km以下に引き下げられました。生活道路とは主に地域住民の日常的に利用される、中央線や中央分離帯などがない比較的狭い道路のことを指します。岩沢といえば、まさに岩沢環境線がこれに当てはまるのではないのでしょうか。

では比較的狭い道路とは？はつきりとした規定はなさそうですが、概ね道幅5.5m以下の道路とのこと。先日どのくらいの感覚か計測してみたところ、かなり広いであろうと思われる中越住電装(株)前の道路で



も5m幅でした。桂集会所前の道路は約4.5m、狭いところでは4mの所もありました。つまり、全線30km以下ですね。試みに、土川の比較的広い生活道路を30kmで走ってみたところ、かなりゆっくりだなーと感じました。なお、消雪パイプは中央線にはならないとのことですのでお気を付けください。……(一)